

旭市立滝郷小学校学校再編地域検討会議 検討結果

旭市学校再編基本方針の（仮称）海上地域小学校について、旭市立滝郷小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を１校に統合することに「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」

旧海上中学校跡地は「賛成」・「反対」の意見が分かれた

【検討の経緯と理由】

滝郷小学校は、明治１８年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和６年度には８６名となり、複式学級が発生することが現実的となっている。

会議の中では、滝郷地区に学校を残したいという気持ちがある一方で、複式学級を避けるために統合はやむを得ないという意見が多数あり、鶴巻小学校、滝郷小学校、嚶鳴小学校を１校に統合することに「賛成」となった。

統合校の位置：嚶鳴小学校

複式学級を踏まえてスピード感を考えると、嚶鳴小学校の敷地の拡張や安全対策などの然るべき対策を取る条件付きであれば賛成できるという意見があった一方、嚶鳴小学校を統合校として活用するにはやはり敷地が狭いことや、滝郷や鶴巻の子ども達が引け目を感じてしまうことがないようにしたいという意見があった。また建設費用以外のメリットが何も感じられず、駐車場がしっかり確保できる場所で新築することが望ましいという理由などから、統合校の位置を嚶鳴小学校にすることには「反対」となった。

統合校の位置：旧海上中学校跡地

旧海上中学校跡地を統合校の位置とすることは、登下校の安全性が確保できて、嚶鳴小学校との２択しかないのであれば「賛成」という意見がある一方で、周辺の道路環境の対策が難しく危険、海上中学校周辺に建ててもらいたいという理由などから「反対」という意見もあり、意見が分かれる結果となった。

委員提案

統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、地域の中心辺りにあり、周辺に公共施設や公園があるため駐車場も十分確保できる海上中学校周辺にまとめたほうがよいなどの理由があり、多数の委員が候補地として望んでいた。

中学校の再編について

- ・統合中学校の位置が基本方針に示される海上中学校ではなく、新しい場所での新築となった場合、空いた海上中学校校舎を統合小学校として活用することができるため、並行して中学校の再編を進めるべきではないかとの意見が委員より多数あった。

その他の意見

- ・複式学級の解消という大前提があるので、中学校の統合を進めつつ、滝郷小学校と鶴巻小学校を先に統合していくことも考えられる。

【会議の概要】

第1回 (R6.7.9)	(1) 旭市学校再編基本方針の概要について (2) 海上地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (3) 意見交換
第2回 (R6.8.2)	(1) 学校再編の目的について (2) 事例紹介（香取市立山田小学校・東庄町東庄小学校） (3) 統合校の候補地について (4) 意見交換
第3回 (R6.9.30)	(1) 3校の統合について (2) 意見交換
第4回 (R6.10.30)	(1) 統合校の位置について (2) 意見交換
第5回 (R6.12.19)	(1) 学校再編地域検討会議の検討結果について

令和6年12月19日

旭市教育委員会